

十勝管内の畑地かんがい

十勝管内の畑地かんがい

○必要性

土壌：十勝管内の土壌は、保水性の乏しい火山灰性土壌が広く分布している。

気候：十勝管内の気候は、5月～9月の降水量は少ないため恒常的に水不足をきたしている。

○効果

①風食被害対策、再播種・再移植作業の軽減

春先の強風による貴重な耕土や作付け後の苗の飛散や埋没の防止

②育苗・発芽などの初期生育促進

作物の発芽時、移植後の不足する水分を補い育成を助ける

③品質の向上・単位収量の増加

散水を行うことにより、糖量、澱粉量や規格品増など品質の向上が図られ、また収量の増加

④干ばつ対策による減産防止

干ばつ対策を行うことにより、安定した営農計画の確立

⑤新規作物の導入など多様な農業生産の展開

作付け作物の選択の幅が広まり、高級野菜の導入等、収益のアップ

⑥防除用水の確保にかかる労力の軽減

ほ場の近くに給水栓が設置されるため、水の運搬距離の短縮により労力の軽減



畑地かんがいシステム

取水施設(ダム、頭首工)

↓
パイプライン

↓
ファームポンド

↓
幹線水路(パイプライン)

↓
分水栓

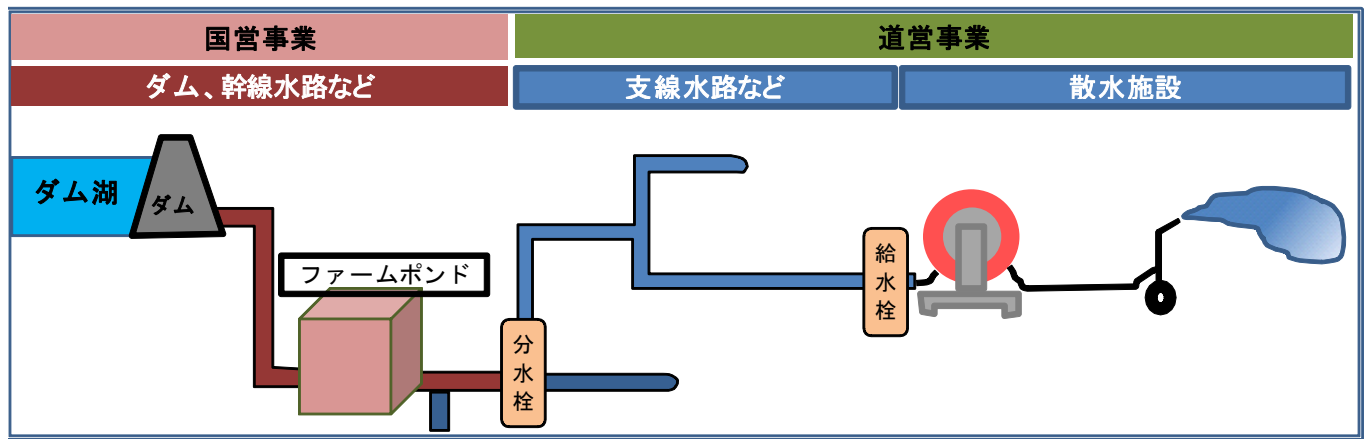
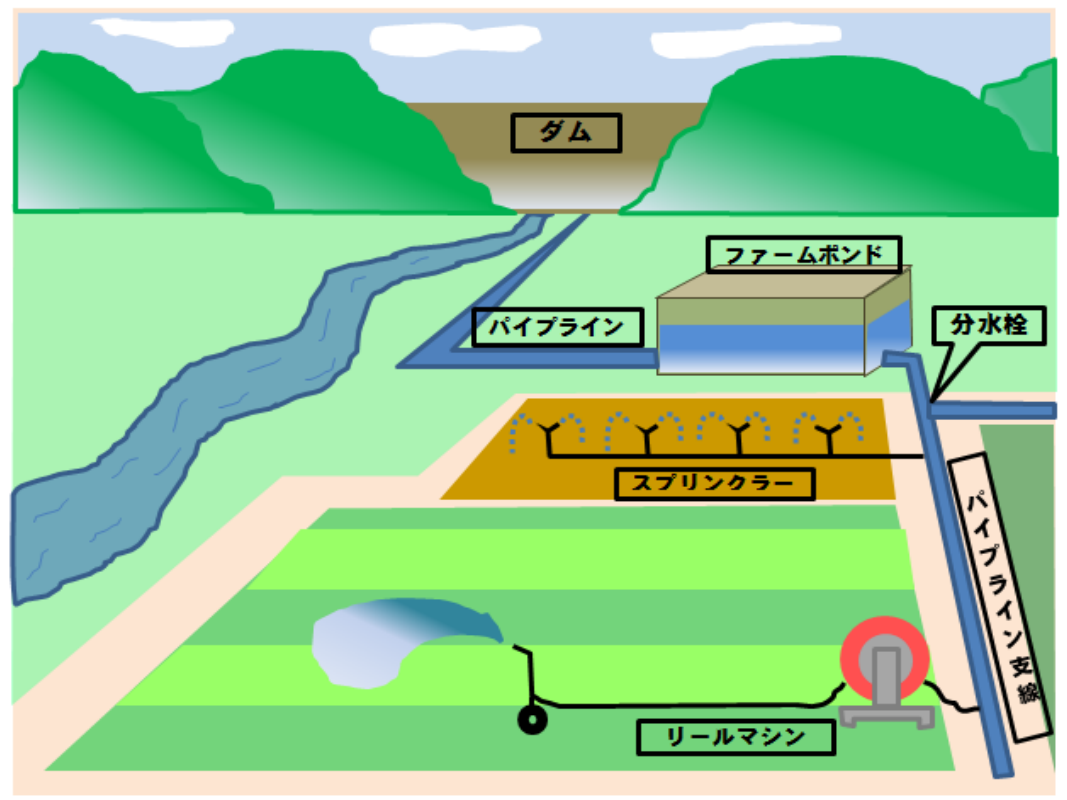
↓
支線水路(パイプライン)

↓
給水栓

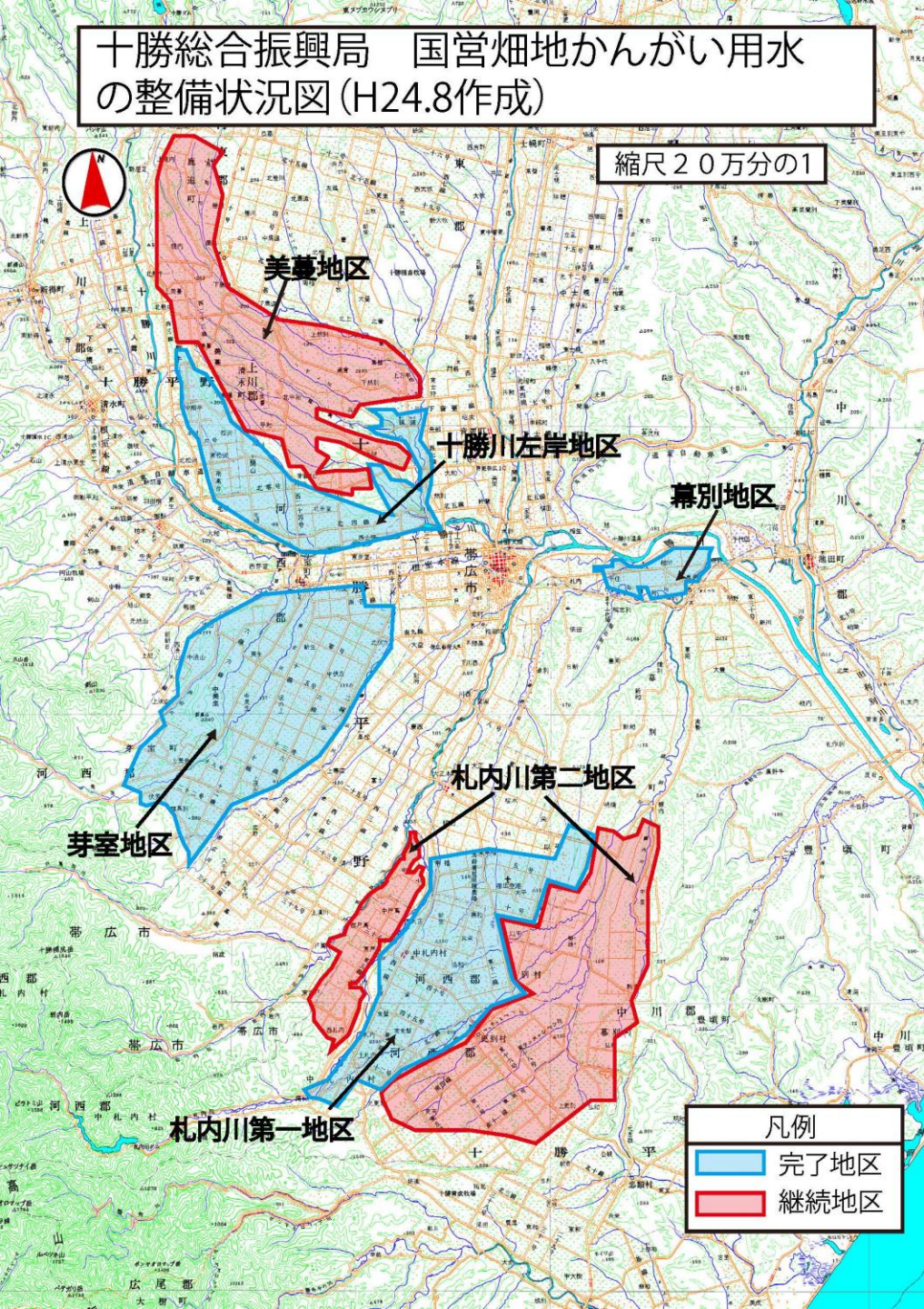
↓
散水施設

国営事業

↑
↓
道営事業



十勝総合振興局 国営畑地かんがい用水の整備状況図 (H24.8作成)



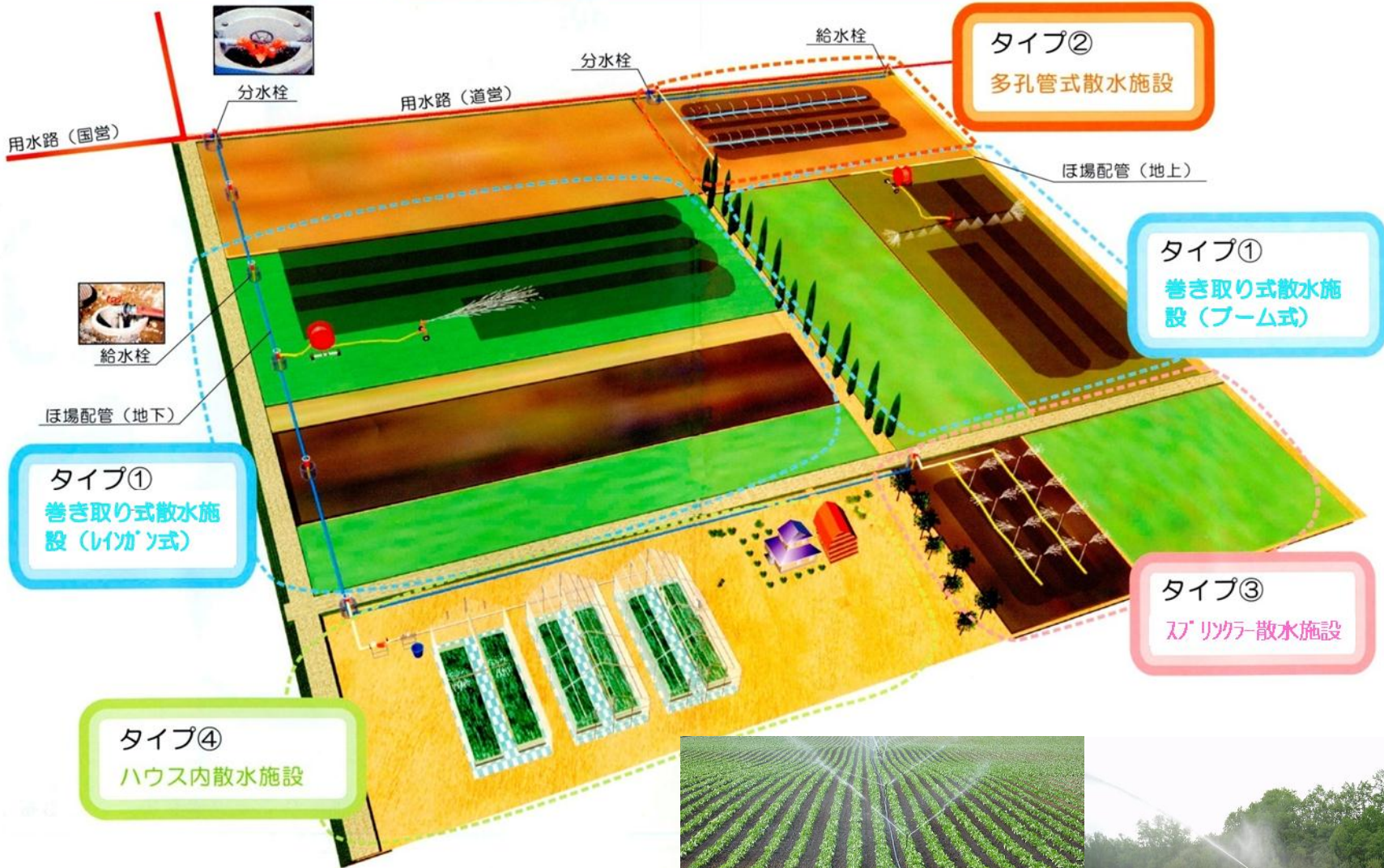
国営事業概要

国営事業地区名	面積 (ha)	工期	工事概要	完了・継続
十勝川左岸	6,280	S59~H7	貯水池 1箇所(有効貯水量800千m3) 用水路 L=129.5km	完了
道営関連事業		H7~H23 まで	3地区(用水路 L=82.6km)	
芽室	12,140	S56~H16	ダム 1箇所(有効貯水量6,000千m3) 用水路 42条 L=249km 排水路 2条 L=21km	完了
道営関連事業		S60~H23 まで	9地区(用水路 L=108.8km)	
幕別	960	S58~H17	ダム 1箇所(有効貯水量2,000千m3) 用水路 4条 L=15km 排水路 3条 L=6km	完了
道営関連事業		S63~H19 まで	2地区(用水路 L=18.5km)	
美蔓	4,056	H5~H25	貯水池 1箇所(有効貯水量300千m3) 用水路 8条 L=60.9km 排水路 4条 L=17.9km	継続
道営関連事業		H23~H23	5地区(用水路 L=0km)	
札内川第一	11,790	H2~H18	頭首工 1箇所 用水路 96条 L=424km 排水路 6条 L=16km	完了
道営関連事業		H6~H23 まで	6地区(用水路 L=22.7km)	
札内川第二	8,050	H8~H25	頭首工 1箇所 用水路 51条 L=256km 排水路 1条 L=8.8km	継続
道営関連事業		H13~H23 まで	9地区(用水路 L=14.4km)	
計	43,276		道営関連事業 34地区	

畑地かんがいモデル図面

- 計画的な散水
- 干ばつ時の補水
- 防除用水の確保

- 作物生産量の向上
- 作物品質の向上
- 風食害の防止
- 発芽・活着の促進
- 計画的な作付け
- 新規作物の導入



ほ場散水施設例

ほ場散水施設例

分水栓（国営・道営）

多目的給水栓



給水栓



〔防除用水〕
スプレヤータンク



タイプ①巻き取り式散水施設（リールマシン）



〔ほ場配管〕

タイプ②多孔管式散水施設



タイプ③スプリンクラー散水施設

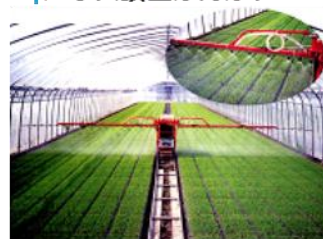


タイプ④ハウス内散水施設

ハウス地上かんがい



ハウス頭上かんがい



ハウスチューブかんがい



レインガン式



ブーム式

